

和歌山県有床診療所協議会会員事務局より会員の皆様へ

2022.11.21

文責：辻 興

いつも当協議会運営への会員の皆様のご協力心より感謝申し上げます。

新型コロナ第8波とインフルエンザ同時流行が懸念される中、2022年度第2回理事会を11/19付で書面開催させて頂きました。12月4日の「有床診療所の日」の告知活動を、今年も和有協HP「ダウンロードポスタープロジェクト2019」の告知ポスターを利用し、会員の皆様に実施頂ければ幸いです。また、来年は役員改選の年です。私事で恐縮ですが、私が協議会活動でクリニックを離れる時、留守をお願いしてきた前院長（父）が高齢となり、遂に留守をお願い出来なくなりました。その為、看取り患者を常に抱えている自院を離れての協議会活動が私には困難となりました。その為、当協議会活動を書面での開催に限局させて頂かざるを得なくなっております。今後、コロナ禍が去り、集会での積極的活動が実現できる状況となった時のことを考えると、もっと積極的に活動が出来る次期新会長の擁立が和有協にとっての喫緊の課題であると考えます。その為、是非、「我こそは」という方がおられましたら、役員として理事会に入って頂き、次期会長候補に立候補頂きたいと切に願っております。自薦、他薦構いません。どうか会員の皆様のお力添えを宜しくお願い申し上げます。また、次期新会長が擁立できるまでの間、会員の皆様には大変ご不便をお掛け致しますが、書面開催での活動の継続につき、どうか御理解の程、宜しくお願い申し上げます。

◆ ◆ ◆

令和4年度 第2回 和歌山県有床診療所協議会 理事会 【会員事務局議事録】

「令和4年度第1回和歌山県有床診療所協議会理事会」

【書面決議提案日】2022年11月15日

【議決書提出期限日】2022年11月18日

【書面決議開催日】2022年11月19日

出席理事：辻 興、辻 寛、勝田仁康、児玉敏宏、木下泰伸

出席監事：木下欣也

※新型コロナウイルス（COVID19）感染症の拡大に伴い、書面開催にて実施

【報告事項】

●2022年（令和4年）5月20日開催の「令和4年度第1回和歌山県有床診療所協議会理事会」以降の活動報告がなされ了承された。

【協議事項】

議案Ⅰ.「12/4 有床診療所の日」告知活動について

新型コロナ禍にあり、インフルエンザの同時流行も懸念され、集会での活動は困難な為、各会員有床診療所において和有協 HP「ダウンロードポスタープロジェクト 2019」の告知ポスターを利用し、自院病床の担う病床機能を告知することで、「12/4 有床診療所の日」告知活動を行うことに理事会承認がなされた。

議案Ⅱ.令和 5 年度の予定と役員改選について

令和 5 年度は役員改選年であり、次期選挙管理委員会の委員長、委員（2 名以上）は理事会が指名し、理事・監事の立候補者を募集、選挙を実施すること、前回 2 0 2 1 年度選挙と同様の形式（書面開催）での実施を検討すること、会長・副会長は理事会の決議により理事の中から選任すること、次期会長候補擁立を含め検討することを理事会承認がなされた。

議案Ⅲ.次期会長候補の擁立について

平成 2 7 年（2 0 1 5 年）9 月より辻 興を当協議会会長に選任後、来年 9 月で 8 年が経過する。近年、現会長の活動時に留守を担っていた前院長の高齢化に伴い、現会長によるクリニックを離れての活動が困難となった。その為、全国有床診療所協議会の総会、理事会等への現地参加が困難となり、Web 参加などに行動が制約されている。また、和有協の活動も集会での開催が困難となり書面開催に限定され大幅に縮小せざるを得なくなっている。今後コロナ禍が去り、集会での積極的活動が再開できる環境が整った時のことを考えると、積極的活動の可能な次期新会長候補者の擁立は当協議会の喫緊の課題であり、次期新会長候補を理事会で検討する。また、次期新会長擁立までの間、現会長の出来る範囲（書面開催継続等）での和有協協議会活動を継続することに理事会承認がなされた。